

救急救命九州研修所 研修棟防水・外壁改修工事仕様書

この仕様書は、一般財団法人救急振興財団 救急救命九州研修所（以下「研修所」という。）が発注する研修棟防水・外壁改修工事について、その基本的事項を示すもので、本業務は仕様書及び契約書に基づいて実施する。

1 工事概要

(1) 件名

救急救命九州研修所 研修棟防水・外壁改修工事

(2) 委託期間

契約日より令和2年2月29日まで

(3) 施設概要

ア 名称及び所在地

一般財団法人 救急振興財団 救急救命九州研修所
福岡県北九州市八幡西区大浦3丁目8番1号

イ 建物概要

開所日 平成7年4月開所（工事着工 平成5年10月）

SRC造（一部RC・S造）6階建

延床面積 11,130.00㎡

研修棟延床面積 4,235.93㎡

ウ 建物用途

研修施設

(4) 工事範囲

ア 仮設工事

イ 防水工事

ウ 外壁改修

エ 鋼製建具工事

オ 塗装工事

カ 雑工事

キ 宿泊棟3階吸気口カバー設置

数量については別添数量表参照。

(5) 共通仕様書

図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年度「公共建築標準仕様書」及び「平成28年「建築改修工事監理指針」による。

2 一般共通事項

(1) 施工条件

現場説明書及び見積要領書による。

(2) 特殊材料の工法

共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、当該製品の指定された工法による。

(3) 性能保証

保証内容	保証期間
下地補修箇所「ひび割れ及び鉄筋爆裂等再発」	3年間
タイル補修箇所「剥離及び欠損」	3年間
シーリング打ち替え部「破断及び漏水」	5年間
壁面塗装部「塗膜剥離及び変退色」	2年間
天井塗装部「塗膜剥離及び変退色」	2年間
鉄部塗装箇所「発錆及び著しい変退色」	2年間
屋上・バルコニー・その他の防水部 「漏水及び塗膜の破断」	5年間

※保証書は、工事請負業者、施工業者、材料メーカーの三者連名とすること。

(4) 定期点検

ア点 検 日 令和3年1月31日

令和4年1月31日

イ補修完了日 令和3年2月末日

令和4年2月末日

研修所の担当者の確認を受けること。

(5) 工事費の清算

下地補修工事等において、各項目の数量は別に提示する内訳明細書の数量を参考とする。工事着工後の調査で数量が増減した場合、2%以上の増減に対して、清算を行うこととする。(但し、増減が判明した時点で、担当者より了解を得られたものに限る)

(6) 現場代理人

現場代理人は、工事施工管理を5年以上経験した者で、必要資格として1級建築施工管理技士以上とする。

なお、現場代理人は工事請負業者の正社員とし、常住管理を基本とするが、現在の情勢で常駐出来ない場合は、工程会議及び現場の要請があれば、いつでも現場に出向ける

体制を取ること。

(7) 施工計画書等

各工事の施工計画書と使用材料リスト、カタログ、施工要領書を事前に提出すること。
安全、衛生計画書も同時に提出すること。

(8) 工程会議

工事期間中工程会議の日程は、研修所の担当者と協議のうえ決定すること。

(9) 竣工図書

工事完了報告書

ア 工事完了届

イ 工事保証書

ウ 材料メーカーの出荷証明

エ 塗料・防水・その他材料の使用計画書及び搬入写真

オ 使用材料のカタログ、取扱い及びメンテナンス方法説明書

カ 下地劣化調査図及び劣化数量書

キ 実施工程表

ク 打合せ議事録

ケ 工事記録写真（各工種・各工程）

以上をA4版ファイリングの上、2部提出すること。

3 仮設工事

(1) 共通仮設工事

ア 現場事務所

2K×3K2階建て（想定として、2階部分を現場事務所、1階部分を資材置き場と想定）とし、会議用テーブル・椅子及びコピー機等必要な物品を設置する。

イ 工事用水電力

工事用水電力については、既設より分岐、子メーターを設置し清算する。

ウ 安全対策

工事期間中、第三者へ危険が予測される作業やまとまった材料の搬入搬出時又研修所の行事などで外部の者が多数出入りする時等は、研修所の担当者と打合せの上、警備員を適切に配置すること。

エ 障害物の処理

既設足場に支障となる植栽の剪定、伐採は監理者及び研修所の担当者と打合せの上実施すること。

オ 工事車両

工事車両の駐車は研修所の担当者と協議の上決定する。

カ 廃材処理

工事期間中に発生する廃材は、コンテナ等を設置し、定期的に処理すること。

(2) 仮設足場工事

原則として、鋼製足場とする。仮設足場は、作業者の安全のみならず、第三者への危害が及ばない様、十分な防護措置を講じるとともに、足場内に部外者が立入出来ない処置を講じること。

4 下地補修工事

(1) 高圧水洗浄

外壁タイル面・バルコニー内壁・床面の高圧水洗浄（150kgf/cm²以上）を行う。

(2) 事前調査

補修工事に先立ち、防水関係調査報告書にもとづき、目視及び打診調査を行い、図面を作成し、数量を算出し研修所の担当者へ報告すること。

(3) ひび割れ補修

0.3 mm未満 : 浸透性防水剤塗布・散水養生後微弾性フィラー材にて目止め。

0.3 mmから 0.5 mm : Uカットシーリング工法とし、浸透性防水剤塗布・散水養生を行う。

0.5 mm以上 : Uカットシーリング工法とし、浸透性防水剤の所定器を用いて注入を行う。

(4) コンクリートの補修

鉄筋爆裂部及び欠損部の補修で、ポリマーセメントの塗厚が 30 mm以上、コーナー部の辺長が 50 mm以上となる場合は、ステンレス製全ネジピンを打設の上、ステンレス線で結束して躯体に緊結する。

(5) タイル補修

浮き部分は、エポキシ樹脂注入工法（50 孔/m²）とする。

(6) 左官工事

石状塗装及びシート貼り部分は、カチオン系の樹脂モルタルにてタイルの凸面までを目安に下地作成する。

(7) 塗装工事

石状塗装及びシート貼りに関しては、SK化研の仕様書に準じて作業を行う。作業に先立って1面で3か所程度の下地モルタルの引っ張り試験を行う事。

5 シーリング打替工事

既設シーリング材は、完全撤去の上、再充填工法とする。シーリング材からのブリードを防止する措置を行うこと。

6 その他

(1) 足場組み立て開始 2 週間前までに研修所周辺の住民へ工事内容及び工期について周知すること。

- (2) 工事期間中、シンナー臭のする資材を使用する作業については、研修所内にシンナー臭が侵入することを防ぐ対策を講じた上で実施すること。なお、作業中に研修所内にシンナー臭が確認された場合は、速やかに作業を中止してシンナー臭を除去する対策を講じること。
- (3) 研修所への連絡・相談については、現場代理人が行うものとし、作業員等から個別の相談・連絡は受け付けない。

数量表

品名規格	数量	単位
研修棟		
1 仮設工事		
イ 共通仮設		
現場事務所（2 K * 3 K程度 2階建）	1	式
仮設トイレ	1	式
工事用動力電灯設備	1	式
工事用用水設備	1	式
各種試験及び写真費	1	式
各種運搬設備費	1	式
場内清掃片付費	2,540.8	m ²
竣工美装費（タイル面）	2,440.0	m ²
（ガラス面）	1,060.0	m ²
工事保険費	1	式
安全管理費（警備員）	1	式
（安全標識等）	1	式
諸官庁手続費用	1	式
ロ 直接仮設		
外部足場損料（安全手摺・巾木を含む）	4,515.0	m ²
外部足場シート養生	4,515.0	m ²
仮設資材搬入費	1	式
廃材処理費（4トンコンテナ10台）	1	式
足場昇降設備	5	カ所
アプローチ植栽移設	2	回
2 防水工事		
イ 塗膜防水工事		
2階屋上部 平場部分	81.0	m ²
立上り部分	26.4	m ²

数量表

品名規格	数量	単位
2階ベランダ部 平場部分	17.3	m ²
立上り部分	21.8	m ²
2階機械置場部 平場部分	67.8	m ²
立上り部分	18.3	m ²
3階屋上部 平場部分	1,063.4	m ²
立上り部分	236.2	m ²
3階機械置場部 平場部分	71.5	m ²
立上り部分	20.6	m ²
4階機械置場部 平場部分	98.8	m ²
立上り部分	26.3	m ²
4階屋上及び通路部 平場部分	643.1	m ²
立上り部分	74.0	m ²
鳩小屋屋根部	79.2	m ²
ハト小屋小口部	18.2	m ²
ロ コーキング工事		
サッシ廻りコーキング (ポリサルファイド)	1,703.1	m
スリット・打継目地 (ポリウレタン)	606.9	m
タイル伸縮目地 (ポリサルファイド)	209.7	m
サッシ面台・笠木・水切 (ポリサルファイド)	416.0	m
(変形シリコン)	390.8	m
雑コーキング	1	式
3 外壁改修		
イ タイル下地浮き部改修		
i タイル下地浮き部改修		
0.25m ² 未満 (一般部)	16.0	(本/m ²)
0.25m ² 未満 (指定部)	25.0	(本/m ²)
0.25m ² 以上 (一般部)	13.0	(本/m ²)

数量表

品名規格	数量	単位
0.25㎡以上（指定部）	20.0	(本/㎡)
0.25㎡未満部分（タイル仕上げ部分）	35.0	㎡
0.25㎡以上部分（タイル仕上げ部分）	14.4	㎡
ii コンクリート打放し部改修		
打診調査済部（クラック補修）	28.4	㎡
タイル破損部	3.2	㎡
ロ 外壁下地工事		
カチオン系薄塗材	2,444.0	㎡
打ち放し部補修	733.9	㎡
雑補修	1	式
ハ 外壁シート及び吹付け工事		
グラニピエール	866.8	㎡
石状吹付け	1,501.3	㎡
砂岩塗装	75.9	㎡
浸透性防水材塗（高圧洗浄を含む）	733.9	㎡
4 鋼製建具工事		
排煙トップライト（TW2（900*2,000））	1	ヶ所
（TW3（1,300*1,300））	3	ヶ所
5 塗装工事		
i 鋼製建具塗装		
SD4 * 2（800*2000 枠見込100）	9.3	㎡
SD9 * 2（800*1920 枠見込100）	8.9	㎡
SD12 * 1（1600*1000 枠見込100）	4.2	㎡
SD17 * 1（900*2000 枠見込100）	5.2	㎡
SS17 * 3（3465*3170）	121.9	㎡

数量表

品名	規格	数量	単位
6 雑工事			
i 金属工事			
ルーフドレイン		18	ヶ所
宿泊棟			
1 後付給気カバー改修			
既設屋根材・下地材解体 (1575*615)		58	カ所
新規下地材 (コンパネ12.5+9.5)		58	カ所
下地取付費		58	カ所
アルミ金物		58	カ所
アルミ金物取付		58	カ所
鉄骨下地組		58	カ所
2 塗装工事			
i 鋼製建具塗装			
1階 SD31 *1 (1600*2735 枠見込100)		12.7	m ²
1階 SD22 *1 (1200*2035 枠見込100)		7.1	m ²
1階 SD12 *2 (2000*3000 枠見込100)		49.1	m ²
1階 SS15 *1 (4120*3075)		46.9	m ²
1階 SS16 *2 (3000*3075)		68.3	m ²
3階 SD1 *1 (800*2000 枠見込225)		4.6	m ²
4階 SD1 *1 (800*2000 枠見込225)		4.6	m ²
5階 SD1 *1 (800*2000 枠見込225)		4.6	m ²
6階 SD1 *1 (800*2000 枠見込225)		4.6	m ²
PHF SD5 *2 (1550*1580 枠見込100)		7.4	m ²
PHF SD9 *1 (800*1920 枠見込100)		4.5	m ²